

拡張 DM エディタ バージョン 6.0.52 更新記録

2011/06/20
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 要素リストアップ

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]にオプション「標高値=-999m で3次元化する」を追加しました。

データタイプ

E1面 E2線 E3円 E4円弧
 E5点 E6方向 E7注記 E8属性

分類コード

すべての分類コード
 分類コードを選択(1)
 分類コードを選択(2)
 分類コードを選択(3)
 砂防基盤地図の3次元取得項目

2次元、3次元

2次元と3次元すべて
 3次元
 3次元で標高値が全て0.0
 3次元で標高値が-999より高い
 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い
 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ
 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる
 3次元で標高値が-999以下
 2次元
 3次元の標高値

図形区分

すべての図形区分
 非区分(0)
 射影部の上端(11)
 射影部の下端(12)
 表現補助データ(99)
 表現補助データ(99)以外
 0,11,12,99以外
 定義以外
 指定

間断区分

すべての間断区分
 間断区分=0
 間断区分=1
 間断区分=2~9

面(E1),線(E2)の点数

点数は問わない
 2点
 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ・面積

長さは問わない
 長さを指定(2D)
 長さを指定(3D)
長さの最小値
長さの最大値
 面積は問わない
 面積を指定(2D)
面積

その他の条件

注記の数値の小数点以下桁数が1
 取得年月
 以上 以下
 消去年月が空白か0以外
 要素識別番号=
 異なるZ値がある(水平ではない)面・線

処理

リストアップ(順次)
 リストアップ(長い方から)
 リストアップ(高い方から)
 該当要素を削除する
 分類コードを変更する
 注記の線号を変更する
 間断区分を0にする
 間断区分を1にする
 図形区分を変更する
 面(E1)を線(E2)にする
 点(E5)を方向(E6)にする
 方向(E6)を点(E5)にする
 円(E3)を点(E5)にする
 点列の順序を反転する
 標高値を10分の1にする
 標高値を10倍にする
 標高注記(E7)を3次元化する
 標高値=-999mで3次元化する
 レポートパネル出力

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

【標高値=-999m で3次元化する】該当する注記(E7)などを、3次元の要素とし、Z値を-999.0にします。既に3次元の要素になっていて、Z値が-999.0でない場合はZ値を-999.0にします。面(E1)や線(E2)の場合、すべてのZ値を-999.0にします。